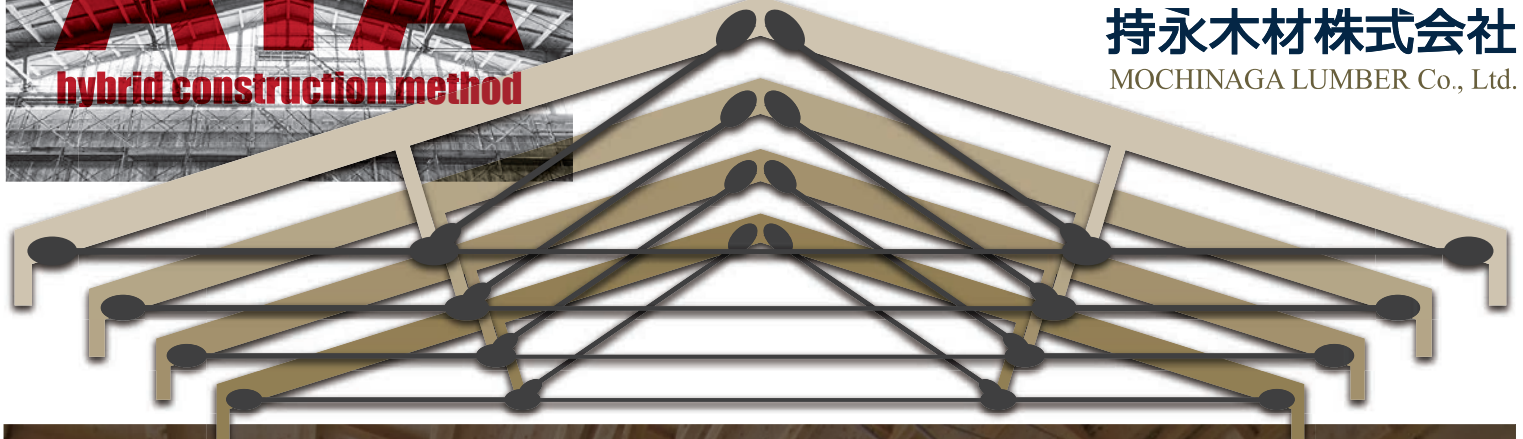
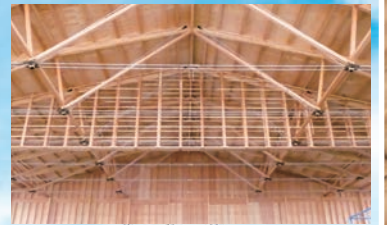


一般流通材で大空間を実現する ATAハイブリッド構法

持永木材株式会社
MOCHINAGA LUMBER Co., Ltd.



大空間の店舗・倉庫・工場は鉄骨造しか選択肢がありませんでした
しかし革新的な技術によりこれらの建築物は大きく可能性を拓きました



ATAハイブリッド構法で建築中の持永木材の新倉庫

倉庫や店舗での大空間の建物はこれまで鉄骨造が主でしたが、現在は木の良さを活かし木の弱いところを金属で補う事で多くのメリットを生み出す「ATAハイブリッド構法」での建築が注目されています。加工性・経済性・軽量化による基礎の費用軽減、木造ならではの温かみのある空間デザインも得られます。

持永木材は新工場でATAハイブリッド構法のプレカット加工を行います

ATAハイブリッド構法による木造建築のメリット



一般流通材で**33m**の大空間が可能!

優れた加工性 プレカット工場での加工対応が可能

はやい施工性 同じ条件の建物は鉄骨と比べ1ヶ月工期短縮

無柱空間の確保 柱を立てないことにより木造建築の弱点でもあったレイアウトの可変性が高く、価値ある中大規模の木造建築物が実現できます。

減価償却が短い 単純に鉄骨造と木造を比較した場合には同額で建物を購入した場合に約半分の年数で償却が出来る為、年間に経費として計上できる金額幅が大きくなるので節税効果が見込めます。

暖かさや安らぎ 木造建築には視覚的に「暖かさ」や「安らぎ」を与えてくれると考えられています。人や動物にやさしい空間を視覚的にも与えてくれます。